

がくしゅうかだい（2ねんせい）

【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

<べんきょうすること>

◆**しよしゃ**「いつも気をつけよう」「かきじゅん」(1～7 ページ)にとりくみます。

- ① しよしゃたいそう（もくじのページ）をします。
- ② 字を書くしせい（2～3 ページ）の絵や写真を見て、正しいしせいをたしかめます。
- ③ えんぴつのもちかた（4～5 ページ）の絵や写真を見て、正しいもちかたをたしかめます。
- ④ 書きじゅん（6～7 ページ）のきまりをたしかめながら、ノートやとりくみシートに書いていきます。

例) ・上から下へ…三 立 気 ・左から右へ…川 人 林

◆「たんぽぽのちえ」(42～47 ページ)にとりくみます。

- ① 42～47 ページを声に出して読みます。
- ② たんぽぽのことについて、「すごいと思ったこと」や「びっくりしたこと」などがあったら、ノートや取り組みシートに書きましょう。

例) ・花のじくがまたおき上がるのがすごいと思いました。

・たんぽぽのたねが、ひらいたりすぼんだりすることにびっくりしました。

◆あたらしいかん字「黄(42 ページ)」～「毛(44 ページ)」まで、とりくみます。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

・「しよしゃたいそう」「字を書くしせい」「えんぴつのもちかた」は、教科書にQRコードが載っていますので、ご活用ください。

<「たんぽぽのちえ」について>

- ・この教材は、順序や時間を表す言葉に気をつけて学習します。
- ・挿絵が文章に合わせて掲載されています。「じくを休ませるっていうのはこの絵で言うところ？」のように、挿絵と文章がつながるように声をかけてみてください。



さんすう
【算数】

「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

<学習内容>

◆たし算（くり上がりあり）（きょうかしよ27～30ページ）

遠足（えんそく）のおかしを かいにきました。おかしを2つえらぼう。

カステラ 28円	グミ 17円
-------------	-----------

カステラとグミを かうと

しき

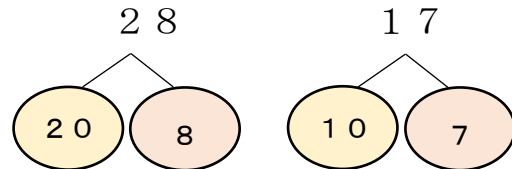
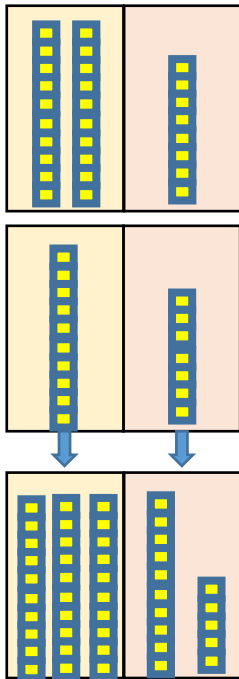
$$\begin{array}{r} 28 \\ + 17 \\ \hline \end{array}$$

あれ？ 一の位を計算すると
 $8 + 7 = 15$ になるよ？



一の位の計算が 10より大きくなるときは、
どうすれば いいのかな？

下の 2つの計算のしかたについて わかりやすいほうの
考えについて 声にだして せつ明 しましょう。

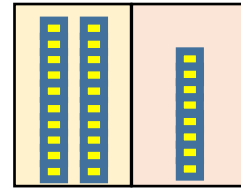


$$\begin{array}{l} 8 + 7 = 15 \\ 20 + 10 = 30 \\ 15 + 30 = \square \end{array}$$

28 + 17の 筆算のしかたを ^{かんが}考えよう。

$$\begin{array}{r} 28 \\ + 17 \\ \hline \end{array}$$

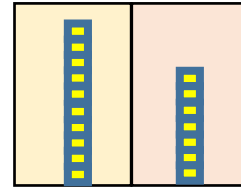
① 位を たてに
そろえて書く



$$\begin{array}{r} \overset{1}{} \\ 28 \\ + 17 \\ \hline 5 \end{array}$$

② 一の位の 計算をする。

$$8 + 7 = \square$$

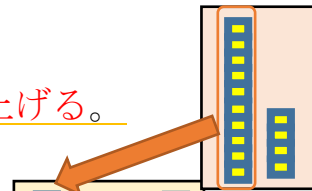


十の位に 1 くり上げる。

$$\begin{array}{r} \overset{1}{} \\ 28 \\ + 17 \\ \hline 45 \end{array}$$

③ 十の位の
計算をする。

$$1 + 2 + 1 = \square$$



※一の位の計算で、
10のまとまりが
できたら、十の位に
くり上げよう。

<れんしゅうもんだい> 筆算で しましょう。

(1) 15 + 76

(2) 48 + 24

(3) 29 + 32

(1)		1	5	(2)		4	8	(3)				
		+	7	6		+						

(4) 62 + 19

(5) 25 + 38

(6) 34 + 17

<きょうの ^{べんきょう}勉強で、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、おうちのひとに ^{はな}お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆たし算（教科書 P27～30）

- ・ <はてな？>にある計算の仕方を、図などに置き換えて考えることは、筆算の意味を考える上で大切です。時間があれば説明を聞いてあげてほしいと思います。
- ・ 筆算の仕方についても、教科書 P29 のように、図を見て指をさしながら説明したりする活動を、時間のある時に取り組むことで、筆算の意味の理解につながります。特に、くり上がりの「1」について説明できるようにしましょう。

【ずがこうさく】



<べんきょうすること>

◆「ともだち見つけた！」（きょうかしよ 48～49 ページ）

- (1) きょうかしよ 48～49 ページをみてみよう。
- (2) いえの中やいえのまわりで、かおに見えるものやばしょをさがしてみよう。いろいろなほうこうから見ると、だんだん見えてくるよ。どんなかおをしているかな？（わらったかお・おこったかお）
- (3) かくれている「ともだち」をもっとさがして、見つけた「ともだち」をおうちの人におしえよう。
※^{がっこう}学校にも「ともだち」がかくれているかもしれないね。とう^{こう}校したら、さがしてみよう。

(例)



「ともだちの顔」が 見えるかな？
どんな顔をしているかな？

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・可能であれば、お子さんの見つけた「ともだち」を写真などに残していただけると、見つける楽しさにつながっていきます。
- ・どのような場所・物が顔に見えるのか、どうして顔に見えたのかを一緒に見ながら会話することで、発想を広げることができます。
- ・上記の例や教科書の例を参考に、植物や道具、模様などから見つけてみてください。

【たいいく】けがをしないよう、まわりをよくたしかめてとりくみましょう。

＜べんきょうすること＞

①か②のどちらかをえらんでとりくみましょう。

※^{どうが}動画をみられるばあいは、QR^{コード}コードをつかってください。



◆①^{どうが}動画を^つつかってとりくむかだいです

いっしょに「^えエアロ^{びくす}ビクス」に^ちチャ^{れんじ}レンジしてみましょう。

◆②^{どうが}動画を^みみないでとりくめるかだいです

4つの「^えエアロ^{びくす}ビクス」の^すステップに^ちチャ^{れんじ}レンジしてみましょう。

8^かカウ^{んと}ント（いち・に・さん・し・ご・ろく・しち・はち）をかぞえながら^すステップすると、リズムがとりやすくなります。

なれてきたら4つのステップをつなげて、れんぞくしてとりくんでみましょう。

※すきなきよくにあわせてやってみると、たのしいですよ！

①^すステップ^たタッチ

②^{けん}ケン^{けん}ケン

（2かいくりかえし）

いち に さん し ご ろく しち はち

いち に さん し
ご ろく しち はち



③^ぎギャ^ろロ^っっ^ぶっ

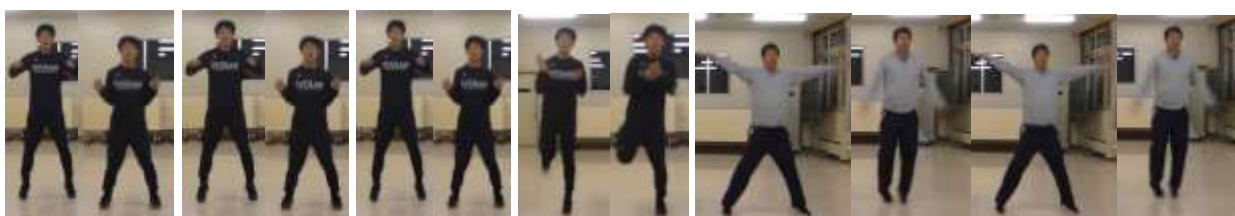
（2かいくりかえし）

いち に さん し
ご ろく しち はち

④^{じゃん}ジャン^{びん}ピング^ぐぐ^{じゃ}じゃ^っっ^くく

（2かいくりかえし）

いち に さん し
ご ろく しち はち



＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・ステップを練習しているときに、8カウントを一緒に数えてあげると、リズムが取りやすくなります。
- ・同じホームページ上に、ステップを更に工夫するポイントを解説した動画も掲載しておりますので、動画を見られる場合は参考にしてください。

4つのステップのせつめい

・ステップタッチ

いち に さん し ご ろく しち はち



ひだりに^{いっぽ}あしをひらいて^て手をたたきます。つぎは、みぎに^{いっぽ}あしをひらいて^て手をたたきます。
これを2度くりかえします。

・ケンケン

いち ろく さん しち
ご はち



ひだりあしケンケンを2回、
つぎに、みぎあしケンケンを2回します。
これを2度くりかえします。

・ジャンピングジャック

いち ろく さん しち
ご はち



りょうてりょうあしをひらきながらジャンプし、
つぎはりょうてりょうあしをとじてジャンプします。
これを2度くりかえします。

・ギャロップ

いち ろく さん しち
ご はち



りょうわきをひらきながらジャンプし、あしが^{じめん}地面につくときにわきをしめます。
3回くりかえしたら、4回目はひだりひざをまげて^て手をたたきます。これを2度くりかえします。
(2度目は右ひざを^ま曲げます。)
「わく・わく・わく・ぱちん」というイメージです。